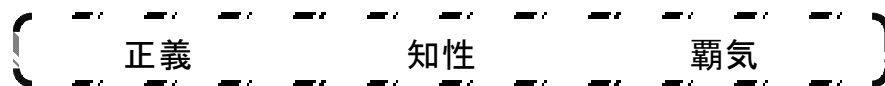


# I 教育目標・重点目標及び努力点

校訓



## 1 教育目標 『 人間性豊かな心身ともにたくましい生徒の育成 』

〔めざす生徒像〕

- |    |                   |                    |
|----|-------------------|--------------------|
| 正義 | ： 郷土を愛し心豊かな生徒     | → なかまづくりの推進        |
| 知性 | ： 主体的に学習に取り組む生徒   | → 確かな学力の育成         |
| 覇気 | ： 粘り強い意志と実行力をもつ生徒 | → 自分に自信と誇りをもつ生徒の育成 |

## 2 重点目標

### ■ 人権・同和教育の推進（なかまづくりの推進）

- 全教職員の人権・同和教育に対する理解と認識を一層深め、資質及び指導力の向上をめざした研修の充実を図る。
- 「うしお学習」を中心に、教育活動全体を通じて、3年間を見通した「なかまづくり（互いに認め合い、支え合い、高め合うなかま）」の推進に努める。
- 「うしお学習」、教科等での様々な人権課題についての学習をとおして、人権についての正しい理解と認識を深めるとともに、人権を尊重する意欲や態度の育成に努める。
- 課題のある生徒に対して、家庭や地域及び関係機関との連携の下、課題の背景にある要因の多面的な分析・共有化を行い、全教職員による一体的な指導や支援を行う。
- 地域から学ぶことを基本として、家庭、地域、会館、校種間等との連携強化を図り、小学校、中学校、高校と長期的な展望に立った指導の充実を努める。

### ■ 学習指導の充実（確かな学力の育成）

- 教師の授業力向上をめざした校内研修に、組織的・計画的に取り組むとともに、教師自らが授業力の向上（分かる授業づくり）をめざして自己研鑽に努める。
- 確かな学力を育成するために、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させるようにきめ細かな指導の充実を努める。
  - ・ 朝の一斉読書の充実を図り、読書活動の推進に努める。
  - ・ 「授業のきまり」の徹底を図り、授業規律の確立に努める。
  - ・ 「よく聞き、よく考え、よりよい表現」のできる生徒の育成に努める。
  - ・ 数学、理科、英語の少人数授業の指導方法の工夫改善に努める。
  - ・ 週1時間「まなびの時間」を設定し、基礎学力の定着・向上を図る。
  - ・ 家庭学習の習慣化（「家庭学習の手引き」の活用）をめざした指導の充実を努める。
- 各教科の知識・技能を活用して、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等をはぐくむとともに主体的に学習に取り組む態度の育成に努める。
  - ・ 思考力・判断力・表現力等をはぐくむために、各教科等の特質に応じた言語活動の充実を努める。

### ■ 生徒指導の充実（自分に自信と誇りをもつ生徒の育成）

- 生徒一人一人との人間的な触れ合いに努め、生徒との信頼関係の構築に努める。
- 生徒の存在感や充実感・達成感を生み出す授業づくりや活動づくり（学級活動、生徒会活動、部活動等）、さらには自他の個性を尊重し、相手のよさを見つけようと努める集団づくりを推進し、自分に自信と誇りをもつ生徒の育成に努める。
  - ・ 「あいさつ、掃除、言葉づかい」がきちんとできる生徒の育成に努める。
- 問題行動等に対する危機意識を常にもち、個々の生徒への指導・援助についての情報の共有と組織的な対応に努める。
  - ・ 教師の姿勢として、「課題を共有し、共通理解・共通実践を行う」「報告、連絡、相談を確実に行う」「迅速、誠実、協働を大切にする」の確立に努める。
- 生徒が不登校にならないよう「魅力ある学校づくり」や、スクールカウンセラー等を活用した教育相談体制の充実に取り組むとともに、小・中学校が情報を共有し連携して支援できる体制の構築に努める。
- 家庭や地域社会及び関係機関との連携・協力を密にした、開かれた生徒指導の推進に努める。

### 3 努力点

#### □ 特別支援教育の推進

- 特別支援教育コーディネーターを中心に、教師間の連携と組織的な支援体制の構築を図り、教職員の専門性の向上を図るために校内研修を行うなど、特別支援教育の推進に努める。
- 通常の学級に在籍する発達障害を含めた障害のある生徒の教育的ニーズに対し、適切な指導や必要な支援を計画的・組織的に行うよう努める。

#### □ 道徳教育の充実

- 道徳教育推進教師を中心に、全教師が協力して道徳教育を展開する。
  - ・ 学年部教師が協力して指導案を作成したり、資料の活用等について情報交換を行うなど、道徳の時間の充実に努める。
  - ・ 生徒の人間的な成長を見守り、よりよく生きようとする努力を認めたり、よりよい成長を促す指導法の工夫に努める。
  - ・ 各教科、総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じた道徳性の育成に努める。
- 地域の教育資源を活用するとともに、生徒が自主的に郷土とかかわる活動（学校外の活動への参加及び情報提供等）の支援に努める。

#### □ 特別活動の充実

- 生徒会活動の活性化（伝統の継承と創造）を図り、よりよい学校づくりをしていこうとする自主的、実践的な態度を育てる。
- 全教師が「生徒会三大運動」の率先垂範を行うとともに、生徒のリーダー育成に努める。

#### □ 健康・安全教育の推進

- 望ましい生活習慣の定着を図るとともに、健康を大切にする意欲や態度を育て、欠席者の減少に努める。
- 生徒一人一人の心身の健康状態を把握し、適切な指導・支援を行う。
- 栄養教諭と連携の下、生徒が食に関心を持ち、自らの課題に気づき、よりよく解決しようとする実践的な態度の育成に努める。
- 教職員の危機管理意識の向上を図り、安全な環境づくりを進めるとともに、生徒自らが危険を予測し、それを回避できる実践的な態度や能力の育成に努める。

#### □ キャリア教育の推進

- 「うしお学習」での進路学習や職場体験学習等とおして、学ぶことや働くことへの関心・意欲の向上を図り、目的をもって進路選択ができる生徒を育成するよう努める。
- 各教科等におけるキャリア教育の視点に立った指導の工夫に努める。

#### □ 情報教育の推進

- 教育活動にコンピュータを効果的に活用できるよう、校内研修を計画的に行い、指導力の向上に努める。
- 生徒がコンピュータや情報通信ネットワークなどを適切かつ主体的、積極的に活用できるための学習活動の充実に努める。
- 情報化の影の部分に対応する情報モラルや情報安全に関する指導の充実に努める。

#### □ 国際理解教育の推進

- A L Tの効果的な活用を図り、英語によるコミュニケーション能力の育成に努める。
- 郷土や我が国の歴史、文化・伝統及び異文化に対する理解を深める指導の工夫に努める。

#### □ 環境教育の推進

- オリーブ栽培などの体験活動をおして、生徒の環境に対する感受性を培うとともに、勤労の喜びを実感できるように活動の充実に努める。

#### □ 部活動の充実

- 部活動の充実を図り、生徒の能力等に応じた技能や記録、精神力、体力等の向上に努める。
- 異年齢集団による活動をおして、好ましい人間関係づくりに努める。